

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、様々な事業展開を行っています。当事業所は「ファミリアいしづかの理念」に基づき、馴染みの地域でいつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。
事業所名	ファミリアいしづか	管理者	藤井 由紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	人	1人	人	4人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・職員の会話から、他者が利用者情報を得る事の無いよう個人情報管理を徹底する。	夕方の申し送りは、休憩室で行い情報漏洩の無いよう努めた。普段の会話も気を付けてはいるが、さらに個人情報管理の徹底に努めたい。	・外部評価開示のホームページを職員は見ているか。→事業所内の掲示板に張り出している。 ・アンケートに昼休みの「職員の声がうるさい」とあったが、その後どうか。→気を付けている。	個別研修計画に従い、職員それぞれのスキルアップに努める。研修で得た知識を情報共有し、事業所の質の向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	・年に3回の大掃除を実施し、居心地のいい空間を作っていく。	4月、8月、12月に大掃除を計画し実行した。	・台風で風の強い日があったが、大丈夫だったか。他事業所で物が飛んで近所に謝りに行った事例がある。→台風前に見回りを行った。 ・事業所も9年経つが修繕はどうか。→不具合等出てきた。	年に3回の大掃除は継続し、その際不具合が無いか点検を行う。 台風前後に不具合が無いか、事業所周りを点検する。
C. 事業所と地域のかかわり	・「いきいきルームいしづか」で何をしたら、地域の方が来て頂けるかを職員全員で考え企画を行う。	職員の意見を聞き取り、リーダー中心となり「いきいきルームいしづか」を企画、実行した。 特に、夏祭りは地域の方々に大勢参加して頂き、地域交流をすることが出来た。	・地域と関係作りを行ってとても良いと思う。 ・いきいきルームの地域への周知はどうしているか。→回覧板で回して頂いている。 ・町内でも回覧板を回す時期を調整しているが、やはり参加者は少ない。	いしづか夏祭り、石塚住宅掃除ボランティアを継続し、地域の方と交流を図る。 石塚住宅に向き「健康体操教室」を継続する。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の行事参加や、散歩等で地域の方と顔を合わせる機会を作り、利用者の顔を覚えてもらえる取り組みを行う。	地域の活動に参加をしたり、市営石塚住宅に向き利用者で地域の方との交流を行った。	町内でも老人会等、町内行事の参加者が少なく、どの行事も縮小している。	利用者の住む地域行事の情報収集を行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・ヒヤリハット・事故報告は日時だけでなく、曜日も記入する。	ヒヤリハット・事故報告の曜日の記入欄を作り、記入した。	・家族の参加はどうなっているか。→FAとGHとで交互でお願いしている。 ・他事業所で、利用者で無い方の事例検討をしている。今後こちらでも行えたらよいと思う。	運営推進会議にて、利用者で無い地域の方の事例検討を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	・引き続き、年に2回の防災訓練の想定を変え、色々な状況での訓練を行う。	年に2回の防災訓練の想定を変え、訓練を行うことが出来た。 (地震からの火災発生) (大雨による水害)	・災害協定は結んでいるか。→市と結んでいる。 ・水害時は本社に避難するのか。→石塚住宅3階は住民もいるので難しい。 ・交通のリスクはないか。→バイパスに乗ってしまえば大丈夫と考えている。	独居利用者の民生委員連絡先一覧表を作成する。 緊急持ち出しリストを作成する。